

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	胃癌の術中臨床分類を用いた長期成績の検討
	研究目的	胃癌の進行度を定める際に、私たちは TNM 分類第 8 版(UICC)を用います。TNM 分類とは悪性腫瘍の病期分類に用いられる指標の 1 つです。臨床的な所見(画像診断などの術前所見、術中所見)、あるいは胃切除後の病理所見により得られる T 因子(腫瘍の深さ)、N 因子(リンパ節転移)、M 因子(遠隔転移)の情報を合わせて、進行度の分類を行います。過去の報告では、胃癌の術前の臨床分類や病理分類と生命予後との関係についての報告はいくつも報告されていますが、術中の臨床分類と生命予後との関係を調べた報告は少なく、その関係は明らかではありません。今回の研究の目的は胃癌の術中分類と予後との関係を明らかにすることにあります。
	研究対象者	当院で 2011 年～2019 年の間に、胃癌の診断で手術を受けた、術前化学療法施行、腺癌、R1/R2 切除を除いた患者さん
	研究期間	西 暦 2019 年 12 月 11 日 ~ 西 暦 2021 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	公盛啓介
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器外科 (胃食道外科)
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	特記事項なし